

多機能車いす2台 西美濃厚生病院へ

大垣西濃信金と
大垣電機が贈る

大垣西濃信用金庫は、電気機械器具製造業の大垣電機(養老町西岩道)が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、同町押越の西美濃厚

厚生病院に軽量・超低床の多機能車いす2台を贈った
写真。

企業の私募債発行により同金庫が受け取る手数料の一部を使い、企業が指定す



る団体や学校に物品を寄贈する取り組み。大垣電機は西美濃厚生病院に産業医を務めてもらっている縁などから寄贈先として選んだ。

贈呈式が同病院であり、梅村幸正社長が同金庫本店営業部の倉橋慎一郎長と共に前田晃男病院長に目録を手渡した。梅村社長は「医療活動に少しでもお役に立てれば」とあいさつ。前田病院長は「高齢の患者も多く、大変助かる」と感謝した。
(古家政徳)